

周防大島町 高潮 ハザードマップ

(令和5年3月) 周防大島町総務課 電話:0820-74-1000

⑤ 橘地区2

ハザードマップの使い方

このハザードマップは、台風などに伴って高潮が発生が予想される時、安全を確保するために必要な情報を示しています。いざというときに備えて、ハザードマップの内容を確認しましょう。

1 自宅の位置や避難先を確認しましょう。
道路の位置、学校や公共施設などの位置を参考に、自宅の位置や避難先を確認しましょう。

4 実際に避難経路を歩いてみて、安全が確認しましょう。
実際に歩いてみる。急な崖等、避難経路に危険な箇所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

2 台風など、高潮が発生するときに危険が予想される場所を確認しておきましょう。

台風に伴う大雨で、浸水や土砂災害が発生することも考えられます。洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップもあわせて確認しましょう。

5 非常持出品を準備しましょう。
右面の「非常持出品チェックリスト」を参考に、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。

3 高潮発生の危険があるときにとるべき避難行動を決めておきましょう。

「あなたがとるべき避難行動は？」をもとに、とるべき避難行動を複数ケースで考えておきましょう。自宅が安全という場合でも、いざというときに避難先を決めておきましょう。

6 わが家の防災メモを記入しましょう。
普段から避難のタイミングや避難先を確認し、わが家の避難計画を検討しましょう。また、災害時の集合場所や家族、親類等の連絡先、連絡方法を記入しておきましょう。

▼平成16年台風第18号



高潮について知っておこう

高潮が起こるしくみ

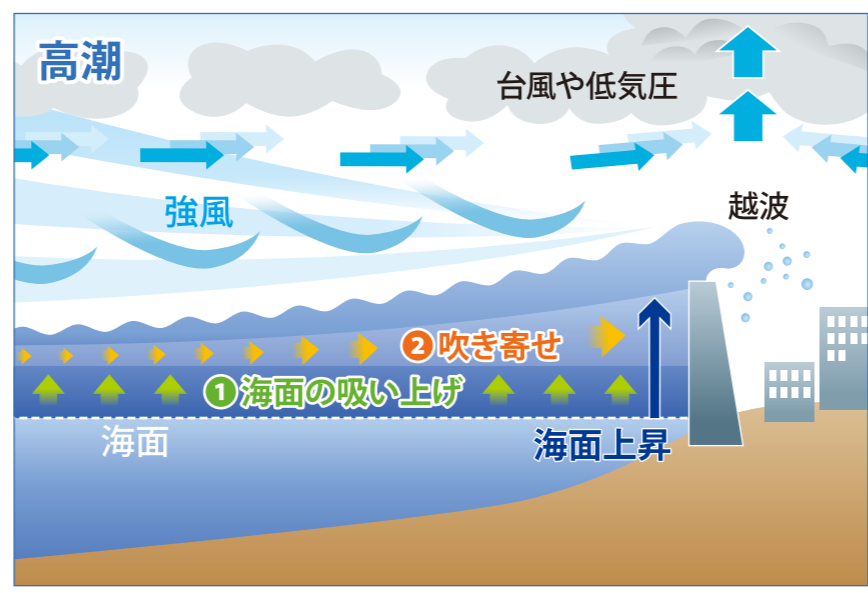
高潮とは、台風や強い低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮は、「①吸い上げ効果」と「②吹き寄せ効果」が合わさって発生します。

① 吸い上げ効果

台風を中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気は海面を押し上げ、中心付近の大気は海面を吸い上げるように働きます。この結果、台風を中心付近の海面が上昇します。

② 吹き寄せ効果

台風などによる強い風が海岸部に向け長時間吹き続けると、風下の海水を吹き寄せ海面が上昇します。



過去に発生した高潮災害

▶平成3(1991年) 台風第19号(りんご台風)

9月27日16時頃佐世保市の南付近に上陸し、速度を速めながら北東進し、18時から19時にかけて山口県北西部を通過し日本海へ抜けました。下関地方気象台では、947.0hPaの最低気圧を観測しています。この台風による強風や高潮によって、多くの建物に被害がでました。



▶平成16(2004年) 台風第18号

9月7日9時半過ぎに長崎市付近に上陸し、速度を速めながら佐賀県、福岡県を通過、12時頃響灘に抜け、山口県の北西部をかすめて日本海へ進みました。下関地方気象台では、951.8hPaの最低気圧を観測しています。この台風によって2,364人が建物被害を受け、町内のほぼ全域が停電しました。同時に高潮が発生し、護岸が破壊され、多くの車両に被害がでました。

高潮が発生しやすい条件

高潮は、台風の進路や潮位、周辺の地形などによって影響を受けます。

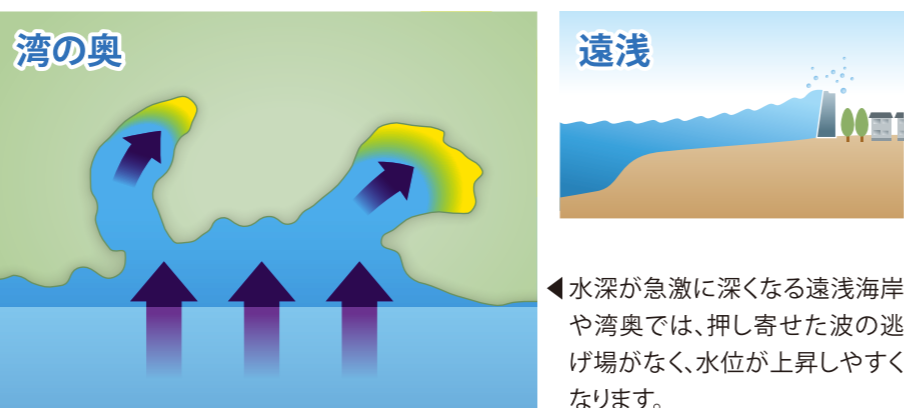
台風の進路



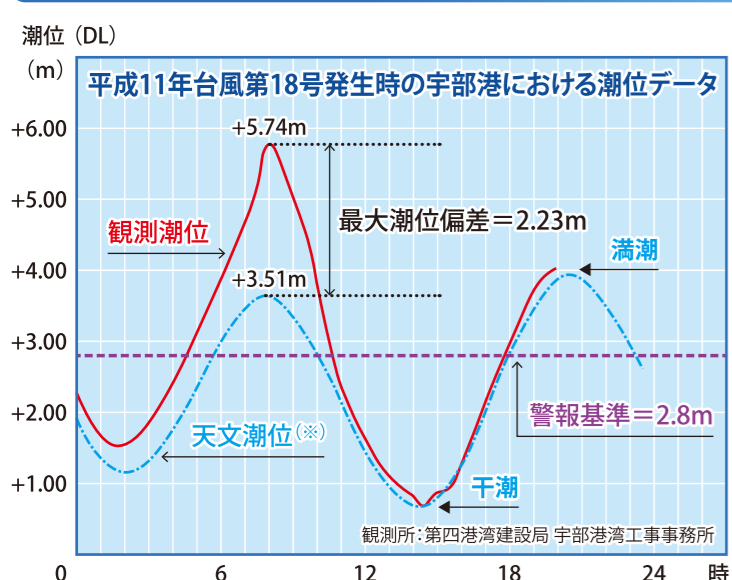
台風は、進行方向の右側で風が強くなります。このため、周防大島町では、台風が県の西部を通過すると、高潮の危険が高まります。

周辺の地形

高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく異なります。つぎのようなところでは、特に高潮に対する注意が必要です。



台風接近時の潮位



潮位の高い満潮時刻の前後数時間に台風が接近すると、高潮発生の危険が高くなります。特に、大潮(満月や新月)のときは、満潮時の潮位が高いため、より被害が発生しやすいです。

※天文潮位:月・地球・太陽の引力から計算した求めた海面の高さです。普段はほぼ天文潮位どおりに海面が上下します。

こんなときは高潮の危険があります

- ▶ 台風が山口県の西部や北部を通過しようするとき。
 - ▶ 台風が九州北部に接近し、周防灘に強風が吹き続けるとき。
※ 風向きによって同じ島内でも影響を受ける地域が変わります。
 - ▶ 台風の接近が満潮時と重なりそうするとき。
特に大潮のときは要注意!
- 台風が接近すると、猛烈な雨風にみまわれます。空振りをおそれず、台風接近前に安全な場所に避難しましょう。

●●● わが家の防災メモ 記入したら、コピーをとるか、スマートフォンなどで撮影しておきましょう。

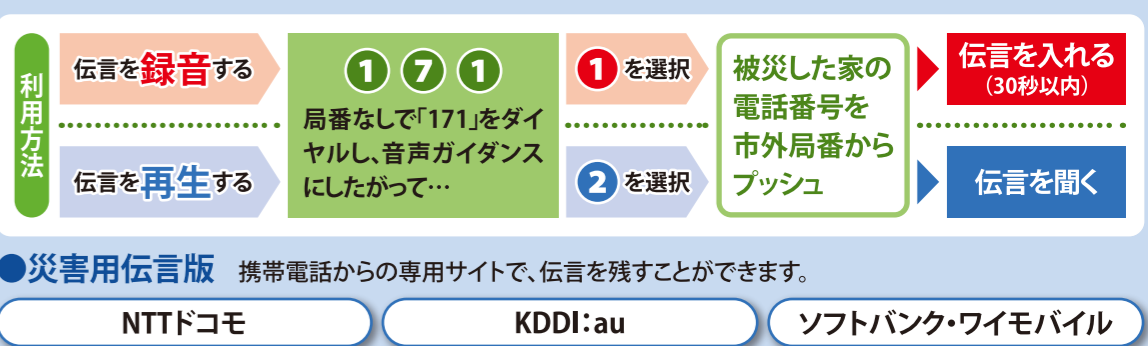
家族や地域で決めておきましょう

最寄りの避難場所はどこですか？	家族の集合場所はどこですか？
避難場所	集合場所

家族の連絡先などを記入しておきましょう

氏名	続柄	血型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先・連絡方法 (携帯電話・学校・勤務先など)

家族で連絡を取る方法



- 災害用伝言版 携帯電話からの専用サイトで、伝言を残すことができます。
- NTTドコモ
- KDDI・au
- ソフトバンク・ワイモバイル

非常持出品チェックリスト

避難するときに持ち出す最小限の必需品。男性で15kg、女性で10kg程度を目安にリュックサックなどの持ちやすい状態に準備しておきましょう。

非常食料品	貴重品	応急薬品
<input type="checkbox"/> 乾パン・缶詰 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> ドライフーズ <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター、水筒 <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 粉ミルク <input type="checkbox"/> レトルトのおかず	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 予防接種帳、印かん <input type="checkbox"/> 権利証書、健康保険証	<input type="checkbox"/> ばんそうこう、包帯 <input type="checkbox"/> 傷薬、胃腸薬 <input type="checkbox"/> 自家製、消毒薬 <input type="checkbox"/> 常備薬
衛生用品	生活用品	非常持出品
<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 手洗い洗剤 <input type="checkbox"/> アルコール消毒薬 <input type="checkbox"/> 台所用洗剤	<input type="checkbox"/> リュックサック <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 下着・上着・靴下など <input type="checkbox"/> 軍手・タオル・スリッパ <input type="checkbox"/> ティッシュ、トイレペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 生理用品、紙おむつ <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> プラスチック皿、紙の皿、紙コップ <input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> 缶切り、栓抜き
<input type="checkbox"/> ポリ袋、バスタブ <input type="checkbox"/> 古新聞など、ビニールシート <input type="checkbox"/> ベッド(ベットがある場合) <input type="checkbox"/> スコップ	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ロックフック <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ <input type="checkbox"/> ドライシャンプー	<input type="checkbox"/> ガスコンロ・ガスボンベ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ハール、ハンマー

災害復旧までの数日間(最低7日間)のための備品品。非常持出品に加え、ご家庭で備蓄していれば便利です。被害を受けにくく、非常時でも取出ししやすい場所に保管しておきましょう。

●●● 高潮発生時の行動

3日前 避難情報 (警戒レベル)

1日前 余裕時間 大切 迫性 低

12時間前

危険性の切迫

余裕時間 小 (迫性 高)

直ちに身の安全の確保

気象・水象情報	町	町民の皆さん
台風発生・接近 台風接近 雨が強くなる川が増水する水防団待機水位到達 氾濫危険水位到達 大雨が降り続く川がさらなる氾濫危険水位到達 土砂災害の危険が高まる最大2時間前程度	早期注意情報 台風の経路情報 警戒レベル 高潮注意報 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 高潮警戒に切り替える可能性が高い 大雨警戒 洪水警戒 氾濫注意水位到達 高潮警戒 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報(山間部) 高潮特別警戒 大雨特別警戒 氾濫発生情報	<p>家族に合った行動を考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自宅には、どんな危険がありますか? ・浸水の危険がある ・土砂災害の危険がある ● 高齢の方や持病のある方はいますか? ● 赤ちゃんはいますか? <p>早めの避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親せきや知人の家に避難することも検討 ・子どもや高齢者がいる場合、大雨になる前に避難する <p>近隣の少しでも安全な場所への避難</p> <p>立寄り避難+垂直避難</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 危険な場所に住む親せき、知人に避難を呼びかける <p>早めの避難</p> <p>避難開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜になる前に安全な場所へ避難 ・近所の高齢者や危険な場所に住む知り合いに声をかける ・川沿いや崖下を避けて避難 <p>※避難場所までが危険な場合は、近くの高い場所へ避難</p> <p>避難完了</p> <p>いざというときは、自宅の2階以上の避難 垂直避難</p> <p>命を守る行動を!!</p>
警戒レベルは順を追って出されるとは限りません。いきなり、レベル4避難指示が発令されることもあります。		<p>警戒レベルは順を追って出されるとは限りません。いきなり、レベル4避難指示が発令されることもあります。</p> <p>どこに避難する? 〈高潮のおそれがあるとき〉</p> <p>〈土砂災害発生のおそれがあるとき〉</p> <p>誰に声をかける?誰と逃げる? 〈声をかける人〉※近所の人や別居の家族など</p> <p>〈支援者連絡先〉※手助けが必要な人は支援者を決めましょう</p>

3日前 避難情報 (警戒レベル)

1日前 余裕時間 大切 迫性 低

12時間前

危険性の切迫

余裕時間 小 (迫性 高)

直ちに身の安全の確保

●●● 積極的に情報を集めましょう 日頃から、色々な情報源に接しておき、いざというときに備えておきましょう。

周防大島町からの情報

▶ 周防大島町防災メール
町からの防災情報を配信するサービスです。登録方法は2種類あります。

〈登録方法〉
① e-suo-osshima@expressmail.jpへ空メールを送信し、手続きを行ってください。
② QRコード対応の携帯電話をご利用の場合、右下のQRコードから登録用アドレスにアクセスできます。

▶ 防災行政無線

報道機関からの情報

▶ テレビ
リモコンの「dボタン」を押すと、災害情報を表示することができます。

▶ ラジオ

インターネットから

▶ 周防大島町のホームページ

▶ 周防大島町の気象防災情報(気象庁)

▶ NHKニュース・防災アプリ

▶ 山口県高潮防災情報システム

▶ 山口県土防防災情報システム

●●● あなたがとるべき避難行動は?

自宅や普段いる場所は、ハザードマップで色が塗られていますか?

いいえ → 安全な場所にいる人は避難する必要はありません

はい → 災害の危険があるので、原則として安全な場所への避難が必要です。

■ 浸水想定区域
5.0~10.0m 2階が水没
3.0~5.0m 2階床下~天井
0.5~3.0m 1階床下~2階床下
~0.5m 1階床下未満

■ 土砂災害警戒区域等
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ) 土石流 地すべり

早めに避難しよう
安全な場所へ避難
原則避難
丈夫な建物で、浸水する深さより高いところにいる場合自宅等で安全確保
すでに外が危険なとき 上層階または近くの高い建物へ

警戒レベル	状況	避難情報	とるべき行動
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1	命の危険 直ちに安全確保!
4	災害のおそれ高い	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難※2
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)	自らの避難行動を確認
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)	災害への心構えを高める

※1 警戒レベル5は、高齢者等の命の危険に即ち着目の行動を要する状態。災害発生または切迫の際、危険を感じたら自主的に避難を始めたりするタイミングです。

※2 警戒レベル3は、高齢者等の命の危険に即ち着目の行動を要する状態。災害発生または切迫の際、危険を感じたら自主的に避難を始めたりするタイミングです。

避難のポイント

地域で協力
● 隣近所に声をかけ、誘い合わせて避難しましょう。
● 支援が必要な方は、地域で協力しましょう。

動きやすい格好で
● 非常持出品リュック等に詰め、両手が自由に使えるようにしておきましょう。
● 動きやすい服装とスニーカー等脱げない靴をはきましょう。

避難先、集合先、連絡方法を事前に決めておく
● 普段から、災害時の家族の避難先などを決めておけば、家族の帰宅を待つことなく避難ができます。